

三重県中小企業団体中央会

業 種 名		前年同月比				業 種 名		前年同月比			
		売 上 受 注	取 引 条 件	収 益 状 況	業 界 の 景 況			売 上 受 注	取 引 条 件	収 益 状 況	業 界 の 景 況
食料品製造業	漬物	→	→	→	→	卸売業	肥料	↓	→	→	↓
	醬油・味噌	→	→	→	→		◎卸団地(津)	→	→	→	→
	豆腐	→	→	↓	↓	小売業	◎商業(鳥羽)	↑	→	→	→
	日本酒	→	→	↓	↓		◎青果(松阪)	→	↓	↓	↓
繊維製品製造業	◎組紐(伊賀)	↓	→	→	↓		自転車	→	↓	↓	↑
	衣料縫製	→	→	→	→		家電	↓	↓	→	→
	テントシート	↑	→	↑	→		石油	↑	→	→	→
木材・木製品		↑	↑	→	↑		スポーツ用品	→	→	→	→
紙・紙加工品	段ボール箱	→	→	→	→	商店街	◎熊野市	→	→	→	→
	古紙	↓	→	↓	↓	サービス業	自動車整備	→	→	→	→
印刷		→	→	→	→		◎宿泊施設(鳥羽)	↑	→	↑	→
窯業・土石製品	生コンクリート	↑	→	→	→		旅行業	↑	→	→	→
	◎陶磁器Ⅰ(萬古焼)	↓	→	↓	↓		◎飲食業	→	→	→	↓
	◎陶磁器Ⅱ(伊賀焼)	→	→	→	→		警備業	→	→	→	→
金属・一般機器・電気機器・輸送機器	鍍金	↑	→	→	↑	建設業	総合工事業	↑	→	→	→
	◎機械器具(四日市)	→	→	→	→		内装工事業	↑	→	↑	↑
	◎機械器具(久居)	↓	→	↓	↓		電気工事業	→	→	→	→
	◎機械器具(伊勢)	↓	→	↓	→		◎水道工事業(津)	→	→	→	→
	◎電気機器(鳥羽)	↓	↓	↓	↓	運輸	トラック輸送	↑	→	↓	→
	◎輸送機器(鈴鹿)	↓	→	↓	↓	◎不動産(鈴鹿亀山)		→	→	→	→

↑…増加・上昇・好転 →…変わらず ↓…減少・下落・悪化 ◎…地域単位の組合

情報連絡一覧票

(三重県中小企業団体中央会・平成25年7月分)

	集計上の分類業種	具体的な業種	組合及び組合員の業況等（景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点）
製造業	食料品	豆腐	円安の影響で輸入の原材料、副資材が値上がり、収益が悪化した。
	繊維工業	テントシート	多くの事業所で受注量が増加してきている。
	木材・木製品	木材	7月1日からの木材利用ポイントの受付開始と消費税の駆け込み需要の影響か、業況は上向き傾向にある。
	紙・紙加工品	紙器段ボール箱	猛暑により飲料関係、冷蔵関係の動きが顕著になる。逆にその天候が農産物に悪影響を及ぼし、出荷が減少している。
		古紙	7月期の仕入高は前年対比で段ボール：約95%±5%、新聞・チラシ：約94%±5%、雑誌・雑紙・その他：約95%±5%となっている。国内販売先の古紙販売価格は7月中も変化はなかった。輸出価格や物量が減る中、以前の値下げが下げきれず仕入れ価格が高くなっている。様々な環境変化がじわじわと効いてきており、社会保障費の負担や増税、増してや人件費の上昇・人手不足が間近に迫っている。
	印刷	印刷	国政選挙も終わり、自民党政権での安定になった。“アベノミクス”効果というものの、県内の当業界ではあまり影響は出ていない気がする。
	窯業・土石製品	伊賀焼	7月は伊賀焼陶器まつりがあったため、伝統産業会館への入館者は昨年より少なく、売上状況も悪かった。しかし伊賀焼陶器まつりは多数の来場者を迎え、大盛況のうちに終了することができた。今年は暑さもしのぎやすく、長い時間をかけて購入していただいた。昨年よりも売上状況も各窯出店者共、大盛況であった。
	鉄鋼・金属	鍍金	当業界の生産量は6月同様自動車関連部品は日々の増減はあるものの、横ばい状態である。全国の当業界全体の傾向としては減産傾向が強いが、東海地方の業界団体は若干ではあるものの増産傾向にある。ただその中でも扱う品目によって増加するもの、減少するものと分かれている。半導体関連は7月中旬より多少減産傾向にある。これはあくまで6月から7月上旬の増産が少し過剰だった為生産調整されたことが原因で8月以降は戻るとの情報が有力である。
	一般機器	四日市	有効求人倍率も上昇し始め、このところ経済環境は良好と言われている。实体经济とムードが一致することが望ましい。各組合員とも頑張っているようだが、収益性があまりよくないと聞く。
		津（久居）	景況感は横ばいもしくは悪化状況である。
非製造業	電気機器	鳥羽	7月中ごろから発注コストは一段と厳しいが、発注量としては少し増加の気配が出てきた。一瞬の状態で安堵はできないが、状況が良い方に変化していくことに期待している。
	輸送機器	鈴鹿	今年上半期の自動車メーカー各社の景況が発表され、各社とも海外での現地生産化が更に進み、国内での生産・販売が落ち込む結果となったが、各社とも円安の影響で大幅な利益増とのこと。この数カ月の景況報告通り、円安効果による海外での好調とエコカー補助金終了の反動による国内での低調が際立つものとなり、国内需要が頼みの中小企業の苦難はまだまだ続きそうである。
	卸売業	肥料	今期6月以降の肥料価格は円安の影響により、20～30%の上昇が予想されたが、大消費国の中国、インドの景気の下降により、肥料の買い控えがあったため、大きな価格変化はなかった。
	小売業	青果	異常な気象に産地、販売それぞれ苦労の1ヶ月であった。価格の上下が激しく、今までにない経験となった。「必要だから」と思っても、量も少なく、品物も少なくなる。今までは南から北海道へと道があったが、このままだと季節の品が無くなってくると心配している。
		自転車	7月上旬、中部自転車ブロック会が開催された。各県とも売上が伸びず低調だという声が聞かれるも、販売促進のための組合事業に力を入れている模様である。金沢ではイオンバイク㈱と産学協同の協定を結ぶ「国際サイクル専門学校」が設立された。自転車産業が発展する中、業界が欲する人材が今不足している。「基本」、「行動力」、「知恵」を身につけた新しい人材を養成し、全国に送り出すことを目的としている。現在我々組合員が注目するところで、今後の課題である。

非製造業	小売業	家電	家電業界は7月に入り、前半は連日猛暑が続く中、エアコンを中心に季節商品が前年に比べ大幅にUPした。しかしながら中旬以降の天候不順とエアコンの品切れ等で後半は減速になり、前年実績にも届かなかった。また白物商品（冷蔵庫・洗濯機等）においては順調に推移している。一方量販店においても同様に季節商品は伸長している。
		石油	特にこの夏の燃料油販売（ガソリン等）は例年になく暑い日が続いている為、車内冷房の影響により、前年対比100%以上の増販が見込まれる状況である。利益については毎週の原油価格の影響により、値下げ傾向のため、大変厳しい状況が続いている。平成24年度の自動車販売台数は増えているが、ハイブリッド車が新車販売台数の26%、軽自動車が40%と省燃費自動車の影響により、ますます燃料販売数量は厳しい状況である。
		スポーツ用品	8月17日から全日本中学校総合体育大会が始まる。三重県は3種目の大会を受け持つこととなり、我々組合と中体連が連携し、大会の選手サービスコーナーを出店し、選手に便宜を図る。このように大会が県内で開催されるとスポーツ熱が上がり、商売にいくらかでもよい結果をもたらしてくれる。東京オリンピックもぜひ誘致を決めて欲しい。
	商店街	熊野	7月に入り、市内各所では夏祭りやイベントが多く開催され、週末の人の動きが活発になってきた。また長らく閉館していた鬼ヶ城の物販施設も8月のオープンに向け、市内の取引業者の商品納入が始まり、こちらも動きが活発になってきたようだ。
	サービス業	自動車整備	どの業界も同じであろうが、1件あたりの単価が低いため、数で補う状態が続いている。（必ず頭打ちする）
		旅館（鳥羽）	鳥羽みなとまつりがあり、お白石行事も始まり、夏休みということで満室のところも多く見られ、雇用人員不足のようである。伊勢神宮の遷宮は20年に1度のことなので、例年とは比べられない。
		飲食業	参議院議員選挙も終わり、今後本格的に消費税の議論が行われることが予想されるが、税率の引き上げによる対策がすでに法制化され、適正に消費税が転嫁されるか政府が監視する仕組みとなっている。中小飲食店ではこれまでに消費税を価格に転嫁できず、納税期においては事業所の負担としてきたところも少くない。今後8%から10%と引上げによる消費の減少も予想されることから適正に価格転嫁出来るよう、表示のあり方等を組合員に周知していきたい。
	建設業	総合工事業	平成24年度に公共事業をメインに据えた大型補正予算が編成され、受注額の増加を期待していたが、年度初めからの総発注額は微増にとどまっている。
		内装工事業	引き続き売上は増加しているが、上昇の勢いは少し緩やかになってきている。確かに一部の建設業についてはアベノミクスにより好調になってきているが、それが従業員への給料にはまだまだ反映されていない。
		水道工事業（津）	業務量は若干増加傾向にある。
	運輸業	トラック	燃料である軽油の価格が高騰しており、輸送量は増加するものの、経費増大で収益は悪化している。

行政庁・中央会に対する要望事項		
集計上の分類業種	具体的な業種	行政庁・中央会に対する要望事項、または関心のある事項、意見等
繊維工業	テントシート	大手企業の設備投資対策の先行が推進される対策を要望したい。関連協力企業の活発な動きに連携され、業界にも少しでも明るさが出る対策を要望したい。
一般機器	四日市	中小企業対策を第一と考えての施策を望む。
	伊勢	我々の血税は有効に活用していただきたい。使い道のチェックを厳しくして真に必要な所へ税金を投入して欲しい。
小売業	スポーツ用品	上記に記載した大会があると、寄付を幾分か強要される。普段入札で物品を購入するのだから県からお金を出してもらおう様にして欲しいものである。
建設業	水道工事業（津）	参議院選挙の結果、ねじれが解消され、強い経済対策に期待したい。ただ消費税の動向が気になるところである。
運輸業	トラック	燃料高騰対策を講じて欲しい。